

基礎集計表
(.組織運営)

ご記入にあたってのお願い

1. 本調査は**学長（総長）を対象**としたものです。学長（総長）の責任のもとにご回答ください。
2. 選択式の質問については、**複数回答・単一回答の指示に注意**してご回答ください。
3. 回答は、**調査票に直接記入していただくか、または同封の回答用フロッピーディスク内のファイルに直接入力**してください。
4. 記入の済んだ調査票もしくは回答用フロッピーディスクは、同封の返信用封筒に入れて、他の3つの調査票といっしょに**2月6日までにご返送ください**。
5. 本調査に関する問合せ先は、下記の通りです。不明な点がございましたら、どうぞご遠慮なくお尋ねください。

国立大学財務・経営センター 研究部 教授 丸山文裕

電話：03-4212-6204 または 6200 FAX：03-4212-6250 E-メール：maruyama@zam.go.jp

1. 大学の管理運営

問1 役員会

(1) 役員会は学長と理事により構成されることになっています。貴大学では、理事を任命する際に、下記の点をどの程度重視していますか。 **a ~ h** それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	重視 している	やや重視 している	どちらとも いえない	あまり重視 していない	重視 していない
a. 担当業務の専門性.....	51.9	36.7	6.3	3.8	1.3
b. 役職者としての力量・経験.....	73.4	24.1	2.5	0.0	0.0
c. 役員構成のバランス.....	40.5	43.0	13.9	2.5	0.0
d. 卒業生・同窓会との関係.....	3.8	7.6	30.4	35.4	22.8
e. 地域との関係.....	14.1	24.4	23.1	25.6	12.8
f. 文科省との関係.....	11.4	31.6	32.9	12.7	11.4
g. 部局との関係.....	19.5	41.6	23.4	9.1	6.5
h. 学長の方針・意向.....	67.1	30.4	1.3	0.0	1.3

(2) 貴大学では、教員出身の理事の教育活動について、どのような方針をとっていますか。

1. 授業の担当を認めている 17.9 2. 大学院生の研究指導を認めている 15.4
 3. 授業と院生の研究指導の両方を認めている 51.3 4. どちらも認めていない 15.4

(3) 中期計画・年度計画、予算配分等の経営上の重要事項を決定する際には、役員会の議を経ることになっています。貴大学の役員会はこれらの事項について実質的な審議を行う場として機能していると思いますか。

十分に機能 している	ある程度機能 している	あまり機能 していない	ほとんど機能 していない
67.1	30.4	1.3	1.3

(4) 貴大学では、上記の役員会の機能を充実・強化するための組織（たとえば拡大役員会、戦略会議など）を設置していますか。

1. している 82.3 2. していない 17.7

1と回答した大学にうかがいます。当該組織の名称と設置の理由をお答えください（複数の組織を置いている場合は、それぞれについてお答えください）。

組織名称	
設置理由	

問2 経営協議会

(1) 貴大学では、経営協議会の学外委員を任命する際に、下記の点をどの程度重視していますか。 **a ~ i** それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	重視 している	やや重視 している	どちらとも いえない	あまり重視 していない	重視 していない
a. 民間的発想の導入.....	79.7	19.0	1.3	0.0	0.0
b. 学識や専門性.....	55.7	36.7	6.3	1.3	0.0
c. 全国的な視野.....	34.6	38.5	21.8	3.8	1.3
d. 委員構成のバランス.....	55.7	39.2	3.8	1.3	0.0
e. 卒業生・同窓会との関係.....	19.0	38.0	20.3	16.5	6.3
f. 地域との関係.....	44.3	43.0	2.5	7.6	2.5
g. 文科省との関係.....	7.6	24.1	31.6	24.1	12.7
h. 部局との関係.....	6.5	10.4	29.9	36.4	16.9
i. 学長の方針・意向.....	57.0	21.5	17.7	2.5	1.3

(4) (2)で「1.設置している」と回答した大学にうかがいます。法人化前と比較して、下記の点は概ねどのように変化しましたか。a～fそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	A	Aに 近い	どちらとも いえない	Bに 近い	B
a. 開催回数は	増えた	15.3-----	69.5-----	15.3	減った
b. 会議の時間は	長くなった	15.3-----	55.9-----	28.8	短くなった
c. 構成員の数は	増えた	40.7-----	49.2-----	10.2	減った
d. 審議へのコミットメントは	強まった	22.4-----	62.1-----	15.5	弱まった
e. 審議事項は	増えた	22.4-----	37.9-----	39.7	減った
f. 全学的重要性は	増した	32.2-----	50.8-----	16.9	減った

問5 全学委員会

(1) 貴大学では、法人化を契機に全学委員会の数を変更しましたか。

1. 従来通り 2. 若干数を減らした 3. 大幅に数を減らした 4. 必置のもの以外全廃した
2.6 35.1 49.4 13.0

(2) 現在設置されている全学委員会のうち、学長として特に重要と考える委員会の名前を重要度の高い順に**3つ**あげてください。

	委員会名称
第1順位	
第2順位	
第3順位	

(3) 重要度が最も高い全学委員会についてうかがいます。その委員の選任はどのような方法によっていますか。法人化前・後について、あてはまる番号を**すべて**お答えください（法人化前に当該委員会がなかった場合は、その前身にあたる委員会についてお答えください）。

1. 部局からの推薦者を委員に任命している (法人化前は)95.3 (法人化後は)79.5
2. 役員会からの推薦者を委員に任命している 10.9 43.8
3. 事務職員を委員として任命している 14.1 43.8
4. 担当業務の専門性を重視して任命している 21.9 39.7

	法人化前は	法人化後は
第1順位		

(4) 重要度が最も高い全学委員会についてうかがいます。その委員会は、法人化前と比べて下記の点は概ねどのように変化しましたか（法人化前に当該委員会がなかった場合は、その前身にあたる委員会についてお答えください）。a～fそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	A	Aに 近い	どちらとも いえない	Bに 近い	B
a. 開催回数は	増えた	36.6-----	53.5-----	9.9	減った
b. 会議の時間は	長くなった	21.4-----	68.6-----	10.0	短くなった
c. 委員の数は	増えた	31.9-----	47.8-----	20.3	減った
d. 審議へのコミットメントは	強まった	50.7-----	43.5-----	5.8	弱まった
e. 審議事項は	増えた	47.1-----	41.4-----	11.4	減った
f. 全学的重要性は	増した	62.9-----	31.4-----	5.7	減った

問6 学長補佐

(1) 貴大学では、学長や役員を補佐するための役職を設けていますか。

1. 設けていない 13.9 2. 設けている 86.1 1名 14.3 2名 12.5 3名 14.3 4名 16.1
5名 8.9 6名 7.1 7名以上 26.8
うち学外者 0名 88.6 1名 6.8 2名 4.5

(2) **2**と回答した大学にうかがいます。その役職名と当該職を設けた理由をお答えください。

役職名	
設けた理由	

(3) (1)で「**2. 設けている**」と回答した大学にうかがいます。貴大学では、その学長補佐等を任命する際に、下記の点をどの程度重視していますか。a～dそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	重視 している	やや重視 している	どちらとも いえない	あまり重視 していない	重視 していない
a. 担当職務の専門性.....	60.3	32.4	4.4	1.5	1.5
b. 潜在的能力や将来性.....	63.2	14.7	17.6	1.5	2.9
c. 部局からの推薦.....	2.9	10.3	25.0	25.0	36.8
d. 学長の方針・意向.....	85.3	14.7	0.0	0.0	0.0

(4) (1)で「**2. 設けている**」と回答した大学にうかがいます。貴大学では当該職の教員について、授業や大学院生の指導に関わる負担の軽減措置をとっていますか。

1. 軽減措置をとっていない 2. 軽減措置をとっている 3. 軽減措置を今後とる予定
60.0 27.7 12.3

問7 企画室等の実務的組織

貴大学では、大学の運営・経営の円滑化を図るため、企画室・財務室・評価分析室などの実務的な組織（**監査室を除く**）を設置していますか。

1. 設置している 2. 設置していない
86.1 13.9

問8 事務部門

(1) 貴大学では、法人化前の事務局長の業務を、現在誰がどのように統括していますか。

1. 従来通り事務局長を置き、一元的に統括 31.6
2. 事務局長を兼ねる担当理事が一元的に統括 41.8
3. 事務局長を置かず、総務等の担当理事が一元的に統括 7.6
4. 事務局長を置かず、各担当理事が部門ごとに統括 8.9
5. その他 10.1

(2) 事務部門の運営について感じている問題点がありましたら、具体的にお答えください。

--

問9 学長選考会議

(1) 貴大学の新しい学長選考規定はいつ制定されましたか。

- ～16年3月 1.4 16年4月 35.2 16年5月～17年3月 42.3 17年4月以降 21.1

(2) その新しい学長選考規定による学長選考はすでに行われましたか。行われた場合はあわせてその時期をお答えください。

1. 行われた 64.5 2. 行われていない 35.5
16年4～9月 12.2 16年10月～17年3月 28.6 17年4～9月 28.6 17年10月以降 30.6

1と回答した大学にうかがいます。その新しい規定による選考に関して問題になった点がありましたか。また、その問題にどのように対処しましたか（する予定ですか）。それぞれ具体的にお答えください。

問題点	
問題への対処	

(3) 国立大学法人法によれば、「学長又は理事を学長選考会議の委員に加えることができる」とありますが、これに該当する委員はいますか。いる場合は、あわせてその人数をお答えください。

1. いない 41.0 2. いる 59.0 (学長 名・理事 名)

(4) 学長選考会議の議長は、学外・学内のどちらの委員がつとめていますか。

1. 学外 62.3 2. 学内 37.7

問10 意思決定における役割

(1) 貴大学では、全学的意思決定の過程で、下記のそれぞれの役職あるいは組織が果たす役割は、法人化前と比較してどのように変化しましたか。a～jそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください（下記の役職・組織が法人化前後とも存在する場合についてのみお答えください）。

1. 年度計画の作成における役割

	大きく なった	やや大きく なった	変化 なし	やや小さく なった	小さく なった
a. 学長	72.7	22.1	5.2	0.0	0.0
b. 理事（旧副学長）	74.0	23.4	2.6	0.0	0.0
c. 役員会（旧執行部）	60.5	34.2	3.9	0.0	1.3
d. 経営協議会（旧運営諮問会議）	35.1	37.7	26.0	1.3	0.0
e. 教育研究評議会（旧評議会）	16.2	21.6	40.5	17.6	4.1
f. 部局長会議（現在も置いている場合）	4.0	8.0	56.0	20.0	12.0
g. 部局教授会	1.4	12.3	47.9	26.0	12.3
h. 全学委員会	10.7	28.0	29.3	21.3	10.7
i. 学長補佐（法人化前から置いている場合）	17.9	46.2	33.3	2.6	0.0
j. 事務局長（現在も置いている場合）	19.0	38.1	33.3	7.9	1.6

2. 新規概算・特別教育研究経費要求案の作成における役割

	大きく なった	やや大きく なった	変化 なし	やや小さく なった	小さく なった
a. 学長	75.9	19.0	5.1	0.0	0.0
b. 理事（旧副学長）	69.6	25.3	5.1	0.0	0.0
c. 役員会（旧執行部）	55.1	32.1	12.8	0.0	0.0
d. 経営協議会（旧運営諮問会議）	20.3	36.7	38.0	3.8	1.3
e. 教育研究評議会（旧評議会）	5.3	17.3	50.7	16.0	10.7
f. 部局長会議（現在も置いている場合）	2.0	9.8	56.9	11.8	19.6
g. 部局教授会	0.0	6.8	54.8	19.2	19.2
h. 全学委員会	5.5	11.0	49.3	13.7	20.5
i. 学長補佐（法人化前から置いている場合）	12.8	38.5	46.2	0.0	2.6
j. 事務局長（現在も置いている場合）	23.4	34.4	39.1	1.6	1.6

3. 学内の予算配分方針の作成における役割

	大きく なった	やや大きく なった	変化 なし	やや小さく なった	小さく なった
a. 学長	76.9	20.5	2.6	0.0	0.0
b. 理事（旧副学長）	67.9	28.2	3.8	0.0	0.0
c. 役員会（旧執行部）	64.5	28.9	6.6	0.0	0.0
d. 経営協議会（旧運営諮問会議）	22.1	53.2	22.1	2.6	0.0
e. 教育研究評議会（旧評議会）	5.3	14.7	48.0	20.0	12.0
f. 部局長会議（現在も置いている場合）	5.8	11.5	51.9	15.4	15.4
g. 部局教授会	0.0	4.1	54.8	24.7	16.4
h. 全学委員会	8.1	16.2	40.5	14.9	20.3
i. 学長補佐（法人化前から置いている場合）	7.7	28.2	56.4	5.1	2.6
j. 事務局長（現在も置いている場合）	23.4	39.1	31.3	4.7	1.6

(2) 法人化後の上記意思決定過程に関与している役職・組織を、影響力の大きい順に下記の1～11のうちから3つお答えください。

	年度計画			特別教育研究経費等の要求案			学内の予算配分方針		
	1番目	2番目	3番目	1番目	2番目	3番目	1番目	2番目	3番目
1. 学長	55.1	17.1	5.3	57.7	20.0	4.1	61.5	14.5	6.8
2. 理事	17.9	39.5	11.8	9.0	45.3	13.5	5.1	38.2	20.3
3. 役員会	15.4	17.1	32.9	14.1	17.3	32.4	20.5	19.7	23.0
4. 役員会の機能を充実・強化した組織(拡大役員会等)	3.8	7.9	7.9	7.7	2.7	10.8	5.1	9.2	6.8
5. 経営協議会	0.0	1.3	5.3	0.0	1.3	5.4	0.0	5.3	13.5
6. 教育研究評議会	0.0	3.9	7.9	1.3	1.3	8.1	1.3	1.3	4.1
7. 部局長会議(現在も置いている場合)	0.0	2.6	3.9	0.0	6.7	2.7	0.0	6.6	5.4
8. 部局教授会	1.3	3.9	9.2	3.8	0.0	9.5	0.0	0.0	5.4
9. 全学委員会	6.4	3.9	3.9	1.3	1.3	6.8	3.8	3.9	9.5
10. 学長補佐等	0.0	0.0	6.6	0.0	2.7	1.4	0.0	0.0	0.0
11. 事務局長(現在も置いている場合)	0.0	2.6	5.3	5.1	1.3	5.4	2.6	1.3	5.4

問11 学長の役割

学長の役割についてうかがいます。現在、ご自身が学長として重視している役割はどのようなものですか。a～dそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	重視している	やや重視している	あまり重視していない	重視していない
a. リーダー的役割	79.7	20.3	0.0	0.0
b. 行政的役割	51.9	38.0	10.1	0.0
c. 調整的役割	46.8	40.5	12.7	0.0
d. 大学の顔的役割	60.8	27.8	11.4	0.0

- a. リーダー的役割 (大学経営の責任者として強いリーダーシップを発揮する)
 - b. 行政的役割 (大学の目標・計画を着実に実行する役割を担う)
 - c. 調整的役割 (各部局等の意見を調整し、全学の方針をまとめ上げる)
 - d. 大学の顔的役割 (大学の顔として対外的な関係に中心的な役割を果たす)

問12 意思決定と合意形成

(1) 貴大学において、全学的に重要な事項に関する意思決定の際の手続きと速度は、法人化前と比較して、総じてどのように変化しましたか。a, bそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	A	Aに近い	どちらともいえない	Bに近い	B
a. 意思決定の手続きは	簡素化された	79.7	17.7	2.5	複雑化した
b. 意思決定の速度は	速くなった	79.7	20.3	0.0	遅くなった

(2) 貴大学において、全学的に重要な事項に関する意思決定に際して、本部と部局との間の合意形成の手続き、速度、合意の水準は、法人化前と比較して、総じてどのように変化しましたか。a～cそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	A	Aに近い	どちらともいえない	Bに近い	B
a. 合意形成の手続きは	簡素化された	68.0	30.7	1.3	複雑化した
b. 合意形成の速度は	速くなった	72.0	26.7	1.3	遅くなった
c. 合意の水準は	強まった	40.0	56.0	4.0	弱まった

2. 文部科学省との関係

問13 目標・計画と評価

(1) 法人化にともなって求められるようになった下記の事項は、貴大学にとって[0]どのような効果を持っていると思いますか。a～cそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

中期目標・計画の作成は

	効果が ある	やや効果が ある	どちらとも いえない	あまり効果が ない	効果が ない
a. 管理運営の合理化・効率化に.....	57.0	31.6	8.9	2.5	0.0
b. 教育・研究活動の活性化に.....	49.4	38.0	8.9	3.8	0.0
c. 社会貢献活動の拡充に.....	41.8	46.8	7.6	3.8	0.0

実績報告書の作成は

	効果が ある	やや効果が ある	どちらとも いえない	あまり効果が ない	効果が ない
a. 管理運営の合理化・効率化に.....	44.3	43.0	8.9	3.8	0.0
b. 教育・研究活動の活性化に.....	35.4	41.8	19.0	3.8	0.0
c. 社会貢献活動の拡充に.....	31.6	50.6	15.2	2.5	0.0

法人評価委員会による評価は

	効果が ある	やや効果が ある	どちらとも いえない	あまり効果が ない	効果が ない
a. 管理運営の合理化・効率化に.....	44.3	44.3	6.3	5.1	0.0
b. 教育・研究活動の活性化に.....	32.9	41.8	19.0	6.3	0.0
c. 社会貢献活動の拡充に.....	32.9	40.5	20.3	6.3	0.0

(2) 法人化によって求められるようになった上記の事項について、特に感じているメリット・デメリットがあれば、自由にお答えください。

メリット	
デメリット	

問14 運営費交付金

(1) 用途を各大学で自由に決定できる運営費交付金制度について、貴大学としてはどのようにお考えですか。a～cそれぞれについて[0]、あてはまる番号に○をつけてください。

	効果が ある	やや効果が ある	どちらとも いえない	あまり効果が ない	効果が ない
a. 管理運営の合理化・効率化に.....	42.9	40.3	13.0	3.9	0.0
b. 教育・研究の活性化に.....	32.5	36.4	18.2	9.1	3.9
c. 社会貢献活動の拡充に.....	27.3	36.4	26.0	7.8	2.6

(2) 交付金制度について、特に感じているメリット・デメリットがあれば、自由にお答えください。

メリット	
デメリット	

問15 授業料

(1) 一定の範囲内で授業料の設定を可能にした現行の授業料設定方式について、どのように感じておられますか。

- 1. 現行の設定方式でよい 62.2
- 2. 大学による裁量の余地を広げるべきだ 28.4
- 3. 大学による裁量の余地を狭めるべきだ 9.5

(2) 現行の授業料設定方式について、特に感じているメリット・デメリットがあれば、自由にお答えください。

メリット	
デメリット	

問16 法人化についての評価

法人化は総じて下記の点について、プラス・マイナスどちらの効果があったと思いますか。

a ~ o それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 貴大学にとって

	大いに プラス	やや プラス	どちらとも いえない	やや マイナス	大いに マイナス
a. 大学の個性化に.....	39.7	51.3	9.0	0.0	0.0
b. 大学の競争力向上に.....	30.8	48.7	20.5	0.0	0.0
c. 管理運営の合理化・効率化に.....	35.9	60.3	3.8	0.0	0.0
d. 組織の活性化に.....	29.5	60.3	10.3	0.0	0.0
e. 財務の健全性に.....	15.8	35.5	30.3	11.8	6.6
f. 全学的な合意形成に.....	7.8	50.6	39.0	2.6	0.0
g. 大学の自主性・自律性に.....	38.5	44.9	14.1	2.6	0.0
h. 教員の意識改革に.....	23.4	63.6	13.0	0.0	0.0
i. 職員の意識改革に.....	18.2	67.5	14.3	0.0	0.0
j. 学生の意識改革に.....	1.3	16.9	80.5	1.3	0.0
k. 大学の一体感の形成に.....	6.4	56.4	37.2	0.0	0.0
l. 教育活動の活性化に.....	22.1	51.9	22.1	3.9	0.0
m. 研究活動の活性化に.....	22.1	51.9	20.8	5.2	0.0
n. 社会貢献活動の拡充に.....	35.1	51.9	11.7	1.3	0.0
o. 学生支援の活性化に.....	19.5	57.1	22.1	1.3	0.0

2. 国立大学全体にとって

	大いに プラス	やや プラス	どちらとも いえない	やや マイナス	大いに マイナス
a. 大学の個性化に.....	36.4	51.9	11.7	0.0	0.0
b. 大学の競争力向上に.....	30.3	43.4	23.7	2.6	0.0
c. 管理運営の合理化・効率化に.....	27.6	56.6	15.8	0.0	0.0
d. 組織の活性化に.....	26.3	56.6	15.8	1.3	0.0
e. 財務の健全性に.....	17.1	35.5	27.6	13.2	6.6
f. 全学的な合意形成に.....	6.6	36.8	50.0	6.6	0.0
g. 大学の自主性・自律性に.....	23.7	53.9	21.1	1.3	0.0
h. 教員の意識改革に.....	15.8	63.2	21.1	0.0	0.0
i. 職員の意識改革に.....	17.1	61.8	21.1	0.0	0.0
j. 学生の意識改革に.....	1.3	14.5	82.9	1.3	0.0
k. 大学の一体感の形成に.....	6.6	44.7	47.4	1.3	0.0
l. 教育活動の活性化に.....	15.8	53.9	25.0	5.3	0.0
m. 研究活動の活性化に.....	17.1	52.6	22.4	7.9	0.0
n. 社会貢献活動の拡充に.....	21.1	64.5	13.2	1.3	0.0
o. 学生支援の活性化に.....	13.2	51.3	34.2	1.3	0.0

3. 自由回答とプロフィール

問17 自由回答

その他法人化に関して感じておられることがありましたら、ご自由にお書きください。

問18 学長ご自身のプロフィール

最後に、学長ご自身のことについて、いくつかおうかがいいたします。

- a. 年齢()歳
- b. 現職に就いたのは、平成()年()月から
- c. 最終出身大学 ()大学 ()学部
- d. 最終出身大学院()大学院()研究科
- e. これまでの部局長・役職経験(部局・役職名等)

次ページ以降の質問は、それぞれを担当している職員の方に回答をお願いします。

4. 職員の方にお答えいただく質問

以下の質問は、それぞれを担当している職員の方に回答をお願いします。

問19 役員会等

(1) 問1(役員会)に関連して、平成16年度における貴大学の役員会の構成員数とおおよその開催回数についてお答えください。

構成員数	名(うち外部名)	開催回数	回
------	----------	------	---

(2) 問1の(4)(役員会の機能を充実・強化するための組織)に関連して、平成16年度における当該組織の名称、構成員数、開催回数、構成員の役職名についてお答えください。

	組織名称	構成員数	開催回数	構成員の役職名
(1)		名	回	
(2)		名	回	
(3)		名	回	
(4)		名	回	
(5)		名	回	

問20 経営協議会

問2(経営協議会)に関連して、平成16年度における経営協議会の構成員数とおおよその開催回数をお答えください。

構成員数	名(うち外部名)	開催回数	回
------	----------	------	---

問21 教育研究評議会

問3(教育研究評議会)に関連して、平成16年度における教育研究評議会の構成員数とおおよその開催回数についてお答えください。

構成員数	名	開催回数	回
------	---	------	---

問22 部局長会議

問4の(2)(法人化前の部局長会議に相当する組織)に関連して、平成16年度における当該組織の構成員数とおおよその開催回数についてお答えください。

構成員数	名	開催回数	回
------	---	------	---

問23 全学委員会

問5の(1)（全学委員会の数）に関連して、法人化前後で貴大学における全学委員会の数はどのように変化しましたか。委員会の数をお答えください。

平成15年度		平成16年度		平成17年度	
--------	--	--------	--	--------	--

問24 企画室等の実務的組織

問7(企画室等の実務的組織)において「**1 設置している**」と回答した大学にうかがいます。当該組織の名称、スタッフ数（兼任も含む）をお答えください。あわせて組織の長をつとめる方の役職について、あてはまる番号に○をつけてください。

組織名称	スタッフ数（兼任含む）	組織の長の役職
		1. 役員 2. 教員 3. 職員 4. その他
		1. 役員 2. 教員 3. 職員 4. その他
		1. 役員 2. 教員 3. 職員 4. その他
		1. 役員 2. 教員 3. 職員 4. その他
		1. 役員 2. 教員 3. 職員 4. その他

質問は以上です。回答にご協力いただき、ありがとうございました。